

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 大府商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価															
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価			今後の展開・改善点等		備考		
巡回・窓口相談指導事業	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の基盤をなす小規模事業者及び中小企業者の経営基盤の安定強化に努める。また、課題解決提案・経営革新への積極的な支援を実施する。 特に巡回指導は、多忙な小規模事業者にとっては訪問することにより時間的短縮が図られる上、出向いて聞くまでもない様な些細な相談を受けることを目的に相談に応じる。	巡回指導 実企業数 251件 延べ件数 581件 窓口相談指導 実企業数 421件 延べ件数 1,213件 課題解決提案件数 36件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 108.6%)			指標 課題解決提案件数 (達成度 90.0%)			小規模事業者に対し、補助金申請のノウハウなど支援を効果的に行う事ができた。(小規模事業者持続化補助金の申請件数40件、採択件数23件、採択率57.5%)		総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	必要性 A		補足 A	目標
				目標数値	実績数値	1794	目標数値	実績数値	36	両方現状維持									
記帳継続指導	正しい経理と記帳慣行を身に付け、経理管理や納税の適正化を促す。	指導対象企業数 92件 指導日数 397日 指導延べ回数 1,428回	小規模事業者	指標 指導対象企業数 (達成度 109.5%)			指標 (達成度 %)			小規模事業者の記帳意識の向上をはかり、適正な税務申告指導を図るとともに、経営改善がなされた。		総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	必要性 A	補足 A	目標	巡回・窓口やホームページによるPRなど、新規加入促進を積極的に行い、指導対象企業数の増加に努める。今後現行どおり計画目標を定めて継続実施する。
				目標数値	実績数値	92	目標数値	実績数値		両方現状維持									
講習会等	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の基盤をなす小規模事業者及び中小企業者の経営基盤の安定強化に努める。具体的には1回の定例税務相談を始め年末調整、確定申告の勉強会及び集合受付、経営に関する講習会を開催する。	集団指導 7回 延べ103件 個別指導 49回 延べ310件	小規模事業者	指標 集団指導参加者数 (達成度 51.5%)			指標 個別指導参加者数 (達成度 64.3%)			定例の集団及び個別講習会を開催することにより、小規模事業者が税務、金融、労務に関して正しい知識を身につけることができた。		総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	必要性 A	補足 A	目標	定例の講習会は広く認知されている。定例以外でも時代のニーズにあった有益性の高い講習会を企画する。
				目標数値	実績数値	103	目標数値	実績数値	310	①下げる②上げる									
若手後継者等育成事業	小規模事業者・中小企業者は大企業とは異なり、自己変革に繋がる機会が少ない。この状況を変えるため小規模事業者等の自己研鑽、人格教養、経営能力の向上、企業の発展、並びに地域社会の繁栄に貢献し、会員相互の連携と親睦を図ることを目的とする。	大倉公園つつじまつり、大府夏まつり、研修会等 事業開催回数 青年部13回 女性会12回 延べ参加者数 879名 (青年部502名、女性会377名) 青年部会員数 67名 女性会会員数 64名	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）並びに女性経営者等	指標 青年部会員数 (達成度 119.6%)			指標 女性会員数 (達成度 92.8%)			各種事業の企画・運営することにより、会員の資質向上を図る事が出来た。又、地域の催しへ参加することにより大府市の活性化に繋がるだけでなく、青年部、女性会という団体を市民に向けてPRできた。		総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	必要性 A	補足 A	目標	青年部は、経営者等の資質向上に努め、女性会は、高齢化が進んでいる事から、引き続き若手会員の増強を図り、今後の事業運営の安定を図る。
				目標数値	実績数値	67	目標数値	実績数値	64	①上げる②下げる									
若手後継者等育成事業【大府飲食店マップの作成】【青年部】	青年部が中心となり、飲食店マップ作成委員会を設置し、大府市内の魅力ある店舗を掲載した「大府市飲食店マップ」を作成する。地元の人が勧める店を掲載し、利用を促すことが可能になる。また、ネット検索では、発見できない店も掲載することができる。 マップを通じ、市内飲食店への来店客増加につなげ、店が活気づくことで、地域の活性化にもつながる。また、飲食店を営む経営者が増える事で、青年部の組織力向上、地域と青年部の繋がりを強くすることになり、延いては、自社の発展・若手後継者の育成にも寄与する。	会議記録：青年部メンバーと事務局との打合せ 計4回 西濃印刷と事務局との打合せ 計10回 実施スケジュール ・進め方の打合せ、掲載店舗選定方法の検討、印刷会社の選定（6月） ・掲載店舗の選定（7月、8月） ・選定された店舗への掲載依頼、データシートの記入（9月、10月） ・写真撮影（11月、12月） ・原稿の確認、校了（1月、2月） ・パンフレット完成、納品（3月5日） 作成部数：5,000部	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）並びに女性経営者等	指標 掲載店舗件数 (達成度 50.7%)			指標 満足度 (達成度 125.0%)			チェーン店、F0店、同意を得られなかった店舗などを除き、大府商工会議所青年部が食べたことがあり、美味しい店としておすすめできる「おおぶのまちグルメ」を作成することができた。過去のこれだけの店舗を掲載した、グルメマップの作成は市内で例がなく、市民に広く喜ばれるものが出来上がった。 当初の目標数はチェーン店やF0店なども入った数字であり、これらの店舗は市民の方々に改めて宣伝、周知をする必要もなく、本当に紹介されるべき店は小規模で営んでいる美味しいお店（個店）であるとの見解から、目標の達成には至らなかった。		総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	必要性 A	補足 A	目標	本事業は29年度で取り組みを完了したことから、30年度は実施しない。
				目標数値	実績数値	76	目標数値	実績数値	100	両方現状どおり									

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 大府商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考								
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価											
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	自己評価	調査結果	満足度	必要性			補足	目標						
若手後継者等育成事業「全国会長研修会」【青年部】	事業者にとって「繋がり」とは、売買関係だけではなく、同業者であっても助け合えるパートナーのことをさす。地域活性化の高い志を持つ「会長」が一堂に会する全国会長研修会に参加することにより、良き刺激となり、多くのことを学ぶ自己啓発の場となる。日本商工会議所青年部出向者が築いた「繋がり」も活かし、より実りある研修会とすることができる。	参加者数 ・青年部会長 ・次年度会長予定者 ・顧問(県連会長) 計3名	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）並びに女性経営者等	指標 参加者数 (達成度 100.0 %)	指標 満足度 (達成度 125.0 %)	3	3	3	80	100	100	全国の青年部会員との交流によって、見聞を広めることができた。記念講演により「挑戦」の重要性を学ぶことができた。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	必要性 A	補足 A	目標 ①現状維持②下げる	①現状維持②下げる	両方現行どおり	30年度も引き続き、全国会長研修会へ参加する。
若手後継者等育成事業「女性経営者に必要な心構え講演会」【女性会】	少子高齢化が進む中、我が国最大の潜在力である「女性の力」を十分に発揮できる社会を実現することが求められている。その中で、女性をはじめとした多様な人材を活かした経営を行うには、女性経営者や女性役員の資質向上が不可欠となっている。女性の活躍推進に積極的に取り組む企業の代表者から女性経営者としての心構えについての講演により、女性経営者の資質向上につなげる。	参加者数 45名	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）並びに女性経営者等	指標 参加者数 (達成度 150.0 %)	指標 満足度 (達成度 125.0 %)	30	45	45	80	100	100	目標参加人数30名を大幅に超える参加者実績を作ることが出来た。また参加者の満足度も非常に高く有意義な事業となった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	必要性 A	補足 A	目標 ①現状維持②下げる	①現状維持②下げる	両方現行どおり	女性会会員の資質向上に努める研修を継続実施
祭典事業	小規模事業者は販路が少なく限られた人員で事業を行っており、情報発信を行うことが非常に難しい状況にある。そこで市内外より多くの来場者が訪れる地域振興祭事業へ魅力ある事業者を出店（展）させることにより、販路の開拓及び事業品目の紹介を幅広く行うことができる。	参加事業所数 44件	小規模事業者	指標 参加事業所数 (達成度 97.8 %)	指標 満足度 (達成度 %)	45	44	44				魅力ある事業所を市内外へ情報発信することで、地域内小規模事業者の活性化及び商工業の発展に寄与した。	総合評価 B	実施評価 B	自己評価 B	調査結果 A	満足度 A	必要性 A	補足 A	目標 現状維持	現状維持	現行どおり	会場都合により現状以上の参加事業所数は見込めない。今後は健康都市らしい健康に関する出店をする事業所を優先する等、内容の向上に努めたい。
商店街振興事業（街路灯事業）	商店街の夜間の環境整備並びに商店街のイメージアップを図るため、街路灯の適切な維持管理を行い、その設置効果を高め、街の美化、商店街の繁栄に寄与する。	街路灯維持管理 170基	中小・小規模事業者	指標 指示管理数 (達成度 98.8 %)	指標 満足度 (達成度 %)	172	170	170				街路灯の適切な維持管理により、街路灯の設置効果が上がり、街の美化、商店街の繁栄に資する。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	必要性 A	補足 A	目標 現状維持	現状維持	現行どおり	街の安心・安全のためメンテナンスに重点をおき、引き続き維持管理に務める。
商店街振興事業（げんき商店街推進事業）	小規模商店の現状はいまでもなく厳しい状況にあり、中心市街地の衰退は著しい。このような厳しい状況を少しでも打破するためには、魅力ある商店づくり(個店対策支援)を実施することにより街にも活気が生まれ、ひいては、地域活性化が図られる。	「おおぶ・逸品運動」参加店 29件 「おおぶふれあいセミナー」参加店 60件 「大府あきんど塾」参加店 21件	小規模事業者	指標 参加事業所数 (達成度 55.0 %)	指標 満足度 (達成度 %)	200	110	110				本事業展開により個店の魅力を消費者に伝える事ができ、新規顧客の獲得や店主と消費者との交流が生まれた。また、店主同士の事業を通じた交流を通じて、お互いの刺激にもなり「横のつながり」ができ、地域活性化の一助となった。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	必要性 A	補足 A	目標 現状維持	現状維持	現行どおり	逸品運動の活動を「参加店皆で創る」をテーマにプロセスに重点を置いた。参加店が横のつながりを強め全体で大府市の魅力アップを図れるような支援・気運醸成を目指す。
調査広報事業	会報の発刊を通じ、当所の事業活動や最新の経営情報などを中小・小規模事業者へ情報提供し、商工会議所の事業活動への理解を深めるとともに、各種セミナー、講演会などへの参加を呼びかけ、中小・小規模事業者の資質向上につなげ、事業振興に寄与する。	毎月、中小・小規模事業者、官公庁、大学、マスコミ、他商工会議所に配布 (月2,000部×12ヶ月 合計24,000部発行)	中小・小規模事業者	指標 発刊部数(月) (達成度 100.0 %)	指標 満足度 (達成度 %)	2000	2000	2000				会報の発刊を通じ、当所の事業活動や最新の経営情報などを中小・小規模事業者へ情報提供し、商工会議所の事業活動への理解を深めるとともに、各種セミナー、講演会などへの参加を呼びかけ、中小・小規模事業者の資質向上につなげ、事業振興に寄与した。	総合評価 A	実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	必要性 A	補足 A	目標 現状維持	現状維持	現行どおり	会議所事業を効果的にPRするツールとして、旬な情報などを盛り込んだ情報誌とする。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。